

# 子育て・教育と連携

非営利特定法人  
可児市国際交流協会  
事務局長 各務 眞弓

# みんなで作る 多文化共生のまち 可児

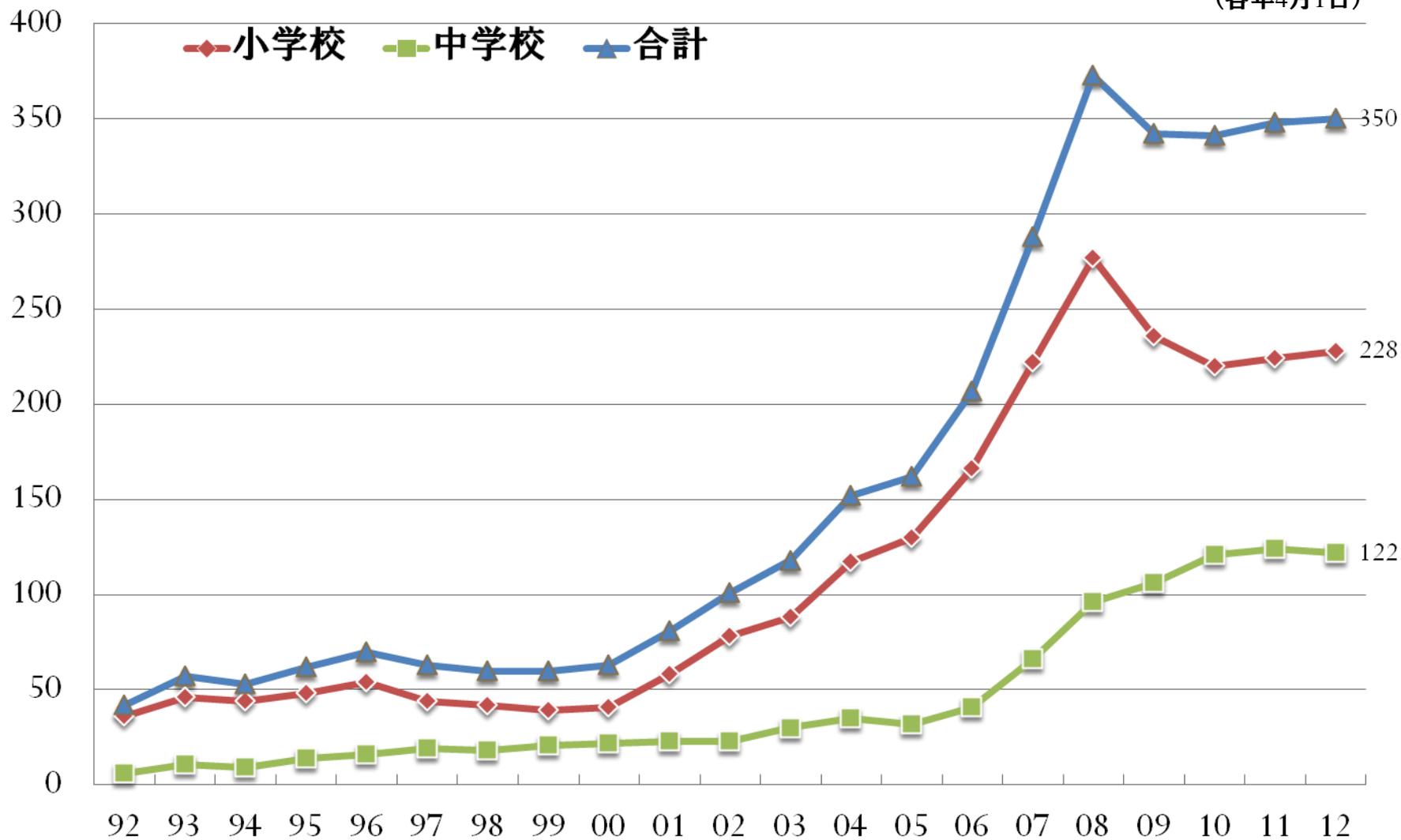


# 可児市外国人児童・生徒数の推移

(各年4月1日)

人

◆ 小学校    ■ 中学校    ▲ 合計



年度

# 就学（進学）支援の充実



## ひよこ教室

学校生活や集団活動になれるための活動や指導

## 就学前の子ども

## 就学年齢の子ども

### サシベレレ

（公立学校に通う子ども）  
ポルトガル語や英語  
学習を通じ多様な文  
化を学ぶ

### きぼう教室

（公立学校に通う子ども）  
日本語指導及び教  
科指導

### 公立学校

ばら教室KANI  
国際教室  
在籍学級

### ゆめ教室

（不就学・自宅待  
機不登校の児童  
生徒）  
日本語・教科指導

## 就学年齢を超えた子ども

**かがやき教室**（中学卒業程度認定試験の受験が必要な子  
ども）

日本語指導及び5教科の集中講座

### さつき教室

高校進学を目指し、日本語・教  
科指導

虹のかけはし

# 外国がルーツの子どもの支援と課題

就学前の準備指導「ひよこ教室」  
学習支援「きぼう教室」

# 多文化プレスクール指導者養成講座 と実践「ひよこ教室」

- 2011年度 岐阜県国際交流センター委託事業 岐阜県のモデル事業として実施
- 愛知県のプレスクール実施マニュアルを参考にし、先進事例を学び3か月の実践指導
  
- 2012年度 モデル事業2年目
- 岐阜県内の大学、専門機関との連携をより強かに養成講座を行い4か月の実践指導

# 多文化プレスクール指導者養成講座と 実践「ひよこ教室」課題と連携

集団になかなかなじめない子や指導の難しい子の受け入れについて

- 成育歴や家庭環境を知り、保護者との関係を大切にする
- 子どもの多様性についても学ぶことが必要で、専門家と連携して指導していくことが大切

# 保護者へのガイダンス

- 教育制度、学校のことを理解してもらう
- 小学校の保護者へも進路ガイダンス実施
- 「外国での子育ては大変」という覚悟と意識を持ってもらう

# 学習環境の課題

- 送迎が課題で送迎を本人負担にすると来られない子がいる
- 特に就学前の指導については、入学後の教育格差につながらないよう委託、助成金だのみではなく公的な支援が必要
- 学校の空き教室利用や、ばら教室KANIの利用を検討してほしい
- 人材の確保と育成

# 高校進学支援「さつき教室」 「かがやき教室」の課題と連携

# 15歳を越えた子どもの進学支援 進学者数

	2005 年	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年	2012 年
入室 数	1	7人	13人	20人	25人	17人
進学 者数	1	1人	7人	5人	2人	(5 人) <small>受験予定数</small>

# 高校進学支援の課題と連携

- 1年間学習を継続することの難しさ  
家庭の経済状況に左右される
- 日本語の能力と進路指導の難しさ  
目指す学校が限られている
- 進学後も退学してしまう  
日本語力、学力、経済的事情、妊娠出産  
など  
今後、高校との連携がさらに必要

# 高校進学後の支援の必要性

- 退学しないよう、進学後の日本語や学習支援がまだ必要
- 就職に備え、資格につながる学習の支援
- 将来の夢や目標が持てるような支援や活動
- 地域の企業との連携で、インターンの仕組みを作る

# 子育て支援の課題と連携

# 現状と課題

- 託児付の日本語教室や講座  
県の補助を利用し託児付講座の実施
- 若い世代の妊娠出産が目立ってきた  
思春期の性教育講座実施
- 子どもの検診の重要性  
多言語での情報提供や啓蒙

# 「多文化育児サークル EarthBabies」の活動支援

- ・「EarthBabies」は、当事者主体の活動
- ・育児中のママの学びや交流の場づくり
- ・社会参加の機会と再就職にむけた取組
- ・課題は、時間や行動が制限される中での活動

## 支援と連携

託児での支援・・・NPO協会や子育て支援  
団体との連携で、活動する人が疲弊しない  
よう支援

## 自立への支援 課題と連携

- 子どもへの支援の目的は、将来仕事につき自立していけること
- 「就労」仕事があることが、生活の安定、教育の安定につながる
- 企業の協力なくしては、課題解決につながらない
- しかし、企業との連携が課題

# 今年度の取り組み 日本語支援体制づくり 「可児市多文化人材育成事業」

- 可児市多文化人材育成推進会議
- 人材育成のための講義
- ビジネスマナー講座
- 子育てに必要な日本語
- 可児市地域日本語シンポジウム  
「多文化人材育成の取組の検証」

- 子どもの支援は、単年度の取り組みではなく、継続した事業でなくてはならない
- 委託、助成金頼みの現状では、予算の確保が課題で、指導者の確保も課題。
- 今後継続して子どもの支援事業を実施するためには、行政、学校、大学、企業との連携が強く求められます。